

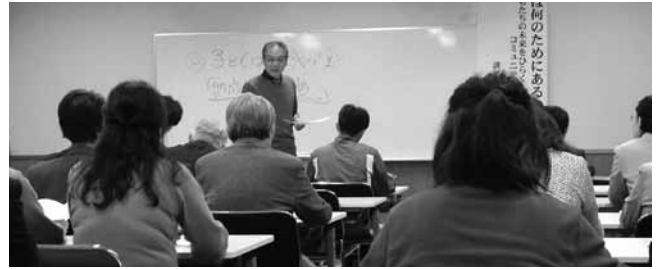
「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

地域とともにある学校づくりを目指して

国では、平成29年3月、学校運営協議会の設置の努力義務化やその役割の充実などを内容とする法改正が行われ、4月1日より施行されました。この改正は、学校の指導・運営体制を充実し、地域との連携・協働を含めた学校運営の改善を図ることにより、複雑化・困難化する諸課題に対応する学校の機能強化を一体的に推進することが目的とされています。

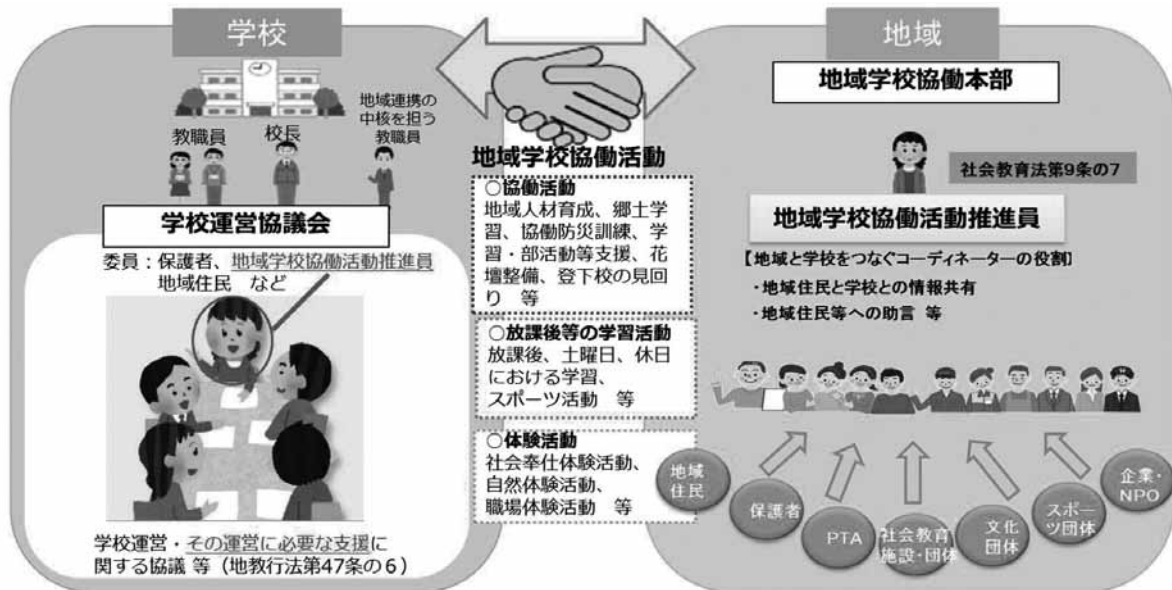
日南町では、学校を支える地域連携組織として、学校、PTA、地域代表、社会教育関係者等を構成員とする「日南町学校教育推進協議会」を設置し、地域住民や保護者等の学校運営への参画を進め、地域と学校が共に子どもたちの豊かな学びと育ちをめざしてきました。上記の法改正により、現在、全国各地でコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入が進められている状況であり、日南町でもこの制度の導入に向けた準備を進めているところです。

去る12月18日（水）、前南部町教育長の永江多輝夫さんを講師にお迎えし、コミュニティ・スクールに関する研修会を開催しました。南部町は、平成18年、県下で初めてコミュニティ・スクール制度を導入して



いますが、永江さんは当時、教育長としてその導入を推進された方です。当初、この研修会は学校教育推進協議会の研修会として計画したものでしたが、町議会議員の皆様、社会教育委員の皆様にもご案内したところ、多数のご参加をいただき、多くの方に関心を持っていただくことができました。町教育委員会では、関係者がさらに研修を深めていけるよう、第2回の研修会を1月下旬に計画しているところです。

日南町の学校教育をさらに充実させ、小中一貫教育を進めていくために、コミュニティ・スクールの導入は非常に大きな推進力になる可能性があります。今後、町民の皆様にもいろいろお伝えしていきたいと思っています。



※出典「学校運営協議会」設置の手引き（文部科学省）

にちなん子ども応援隊だより No. 81

先日、知り合いとおしゃべりをしていましたら、米子のユニクロでの買い物の話になりました。レジが自動で早くなり、並ぶ必要がなく、とっても良かったとのこと。もうここまで、自動化・AI化が進んでいるのかと思いました。

「“Society5.0”に適した人材の育成」と文科省が打ち出してから久しく経ちますが（“Society5.0”とは情報化社会を超えたAI搭載ロボットとの共存社会のことです）、今まで就職できていた人材がAIに取って代わられる社会もいよいよ来たのだな、と思いました。

AIを超え、“Society5.0”の中で生き抜いていくためには、より人間力が必要となるとされています。そのためには、いろいろな立場の人とのコミュニケーション力、またプレゼンテーション力が必要です。そ

の力を培うには、小さい時からいろいろな立場、年齢の方々と接することが一番の方法だと考えられております。しかし、核家族化が進むこの社会において、家族、学校だけではそうした力を培う教育力が不足しているのが現状です。それを補うのが地域の役割であり、学校支援ボランティアの出番となるところです。どんな形であっても、子どもたちと関わることが、子ども達のためになるのです。

にちなん子ども応援隊では、随時ボランティアを募集しております。いろいろな立場、年齢の方、奮ってご応募ください。お待ちしております。

連絡先…日南町教育委員会(0859-82-1118)
コーディネータ携帯(080-5232-7712)

